



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 201

令和3年（2021年）5月5日発行

■ 立夏（りっか） 令和3年5月5日から5月20日までの節気

みなさま、お元気ですか。二十四節気では5月5日（水）から20日（火）まで「立夏」の節気に入ります。新緑が美しく、過ごしやすいころです。「新緑」と一言で言っても、緑色にはいろいろあります。先日遊歩道を歩いていたら、明るい黄緑色のヤツデの葉を見ました。なんてツヤツヤしてきれいなのでしょうか。ケヤキの若葉はヤツデよりもう少し黄色が強い気がします。庭の隅に元気よく生えているドクダミはヤツデよりずっと濃い緑。でも夏のドクダミよりはかなり明るい緑色。暑さとともにどんどん深い緑に変わっていきます。

日本の伝統色の緑にはいろいろあります。若葉色は春のはじめの明るい黄緑色。青竹色は、青竹の肌の色。萌黄色は、萌え出ずる葉の色。若緑色は松の若葉のような明るい黄緑色。老緑色は年を経た松葉の深い緑色、老緑色（おいみどりいろ）。昔の人たちは、季節とともに変化する自然の中に、さまざまな色を見ていたのですね。今の私たちは、どれくらい自然の色に気付いているのでしょうか。気持ちの良い季節、新緑散歩をしてみませんか。

「立夏」スタートの日、5月5日は、ご存知「端午の節句」です。端は「最初」という意味で「午（うま）」は「五」と同音で同じなので、もともと月の初めの午の日のことをいいました。中国では5月は、急に気温が上がり、悪い虫が出たり病気が流行ったりするので、5月5日によもぎや菖蒲で厄払いをしました。一方、日本では田植えが始まる前に、早乙女と呼ばれる若い娘たちが「五月忌み」といって田の神さまのためによもぎや菖蒲で葺いた小屋にこもって穢を祓う風習がありました。端午の節句は、中国と日本のそれぞれの風習が合体した行事なのです。さらに武士の時代になると、「菖蒲」が「尚武（武を尊ぶ）」に通じることから武家の男子の成長を願う行事になっていきました。

我が家でもこいのぼりをあげます。風に泳ぐ鯉たちの姿を見ていると、女の子も男の子もすくすくと育ってほしい、幸せになってほしいと思います。端午の節句には、ちまき や柏餅を食べて、菖蒲湯につかります。先人たちが脈々

と伝えてきてくれた行事です。厄を祓い、パワーをもらいましょう。

5月9日（日）は「母の日」（5月第2日曜）、6月20日（日）（6月第3日曜）は「父の日」です。母の日は、一人の女性が亡くなった母親を偲び、生前母が好きだった白いカーネーションを母の追悼式で参列者に配ったことがきっかけとなりました。その後、別の女性が男手ひとつで自分を育ててくれた父親を尊敬して、父親に感謝する日も作りましょうと呼びかけました。これが父の日制定につながりました。

（詳しい由来は <http://www.plantatree.gr.jp/> 「ともいき暦」でご覧下さい）

私の両親は亡くなり、今は母の日父の日にプレゼントを贈ることもできませんが、感謝の気持ちはいつも持っています。中学生の頃、父（教師）がたまに家にいるときは、家族を家の近くの多摩川の河川敷に連れて行ってくれました。それはいいのですが、父の専門はバレーボールで、姉も私も部活がバレーボールだったものですから、父対姉妹で、シゴキに近いような本格的な練習が始まるのです。恥ずかしかったのを覚えています。そして新じゃがいもの小芋が出ると油であげて甘辛く煮てくれました。今、八百屋さんに小芋が出ていると、つい買って作ってしまいます。母の思い出は山ほどあります。変な表現ですが、すべてが暖かくて、お布団のような安心感と温もりを感じます。両親に幸せな記憶をたくさんもらいながら育てられてきたことに、心から感謝したいです。

とともに、その両親を育ててくれた両親にも、そのまた両親にも、ありがとう、と言いたいです。生命をつなげてくれたからこそ、今自分がいるのだなと感じます。みなさまにも、それぞれにご両親との思い出があることと思います。コロナ禍なので、会うことも難しいかもしれませんが、ご健在でしたら、「母の日」「父の日」にメッセージを送ってあげてほしいなと思います。

次回の「ともいき便り」は「夏至」（6月21日）になります。その頃、世の中はどうなっているのでしょうか。オリンピック、パラリンピックはどうなっているのでしょうか。不確かなことが多いですが、皆さん、5月26日は満月です。それは確かです。お月様、見られるといいですね。

どうぞ、お元気でお過ごし下さい。

すとう あさえ (NPO PTPL 会員)

◆ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

薫風晴天。

東京は4月下旬というのに薫風晴天。初夏のさわやかな気候です。

東京港区白金台の「自然教育園」を歩いていると、新緑の若葉が陽の光に照らされて眩しく、和やかな気分になってきます。

いつの間にか深呼吸をしている自分に気が付きました。

都会生活者の自然との関わり方について、つくづくと考えさせられます。

現代の都会生活者は特に、人間圏をつくり、コンクリートとガラスと鉄の中で快適に暮らすことばかりを考え、自然との限りない調和の素晴らしさを忘れてしまっています。

「SDG s」の17項目も大切なことですが、まずは人間の精神的荒廃について考え、人間的基盤ともいえる「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」のジャパネスクの大切さを痛感してください。

5月26日(水)は満月、「ともいきの日」です。自然に親しみ、楽しみましょう。そして、自然の神秘さや不思議さに目を見張る感性を持ちましょう！！

日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

この便りが届くころはゴールデンウィークも終盤ですね。今年も東京は緊急事態宣言下のゴールデンウィークとなりました。皆さんはどのように過ごされましたか？ 昨年ほどの緊張感が感じられないのはなぜでしょうか？ たんに慣れなのでしょう。やはり平和ボケのせいなのでしょう。何やかやと言いながら季節は移り、暦の上では早くも夏の到来です。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2021/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話：03-6432-5911 F A X：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp